

愛……

そして、死とは……。

両方とも、漠然としているものかもしれません。

あるいは、人によっては、それらについて、はっきりと自分の思いを持っておられるかもしれません。

世の中には、愛を語る小説、物語も、愛をテーマとした映画、演劇、歌なども数知れずあります。

古今東西、愛は、私達の永遠のテーマになってきたと思います。

そして、一方、死についてはどうでしょうか。

あまり深く考えたくないという思いが強いのではないのでしょうか。

しかし、考えてみれば、私達は、一日一日、死に向かって生きています。

いつかは、私達は、みんな死んでいきますが、死を思って、日々の生活を過

ごしている人達は決して多くはありません。

明日をも知れない命の瀬戸際にある人達は、死に対して何らかの心の準備を整えているかもしれませんが、それも死を達観するというよりも、やはり死に対する恐怖の思いのほうが強いでしょう。

ましてや、年齢も若くて、身体も元気な人には、死はまだずっと先の話です。自分のこととして実感がないのは当たり前です。

しかし、今は、何が起こっても不思議ではない世の中になってきました。まだずっと先の話だと思っても、死はある日突然やってくるかもしれません。

愛も死も難しいテーマかもしれません。

しかし、一度、それらについて、あなたも考えてみる時間を持つてみてく

ださい。

日々の生活の時間は、慌ただしく流れているでしょうが、あなたの中にある時計の針を、少しゆっくりと動かして、思うとか考えると、そのような時間と空間に、自分自身を誘われてはどうでしょうか。

さて、あなたは、愛という言葉から何を連想されるでしょうか。

また、死という言葉からはどうでしょうか。

以下の章より、私自身が、そういうものと関連して浮かび上がった思いを語ります。